

児童朝会 校長の話 11月22日

この野球選手、知っている人もいることでしょう。大谷翔平選手です。アメリカ大リーグで今年最も活躍した最優秀選手に選ばれました。30人の人が投票しましたが全員一致で大谷選手が選ばれました。アメリカでは、野球の神様ベイ・ブル



ースに並ぶ、あるいはベイ・ブルースを超える国際的スターが誕生したと言われています。大谷選手は二刀流と言われているが、バッターとしては、ホームランを年間46本打ち、ホームラン競争で競い合いました。ピッチャーとしても年間9勝を挙げました。ピッチャーでかつバッターとしても活躍するということは、ほとんど不可能に近いと言われてきました。それを成し遂げ



ました。更にアメリカでもすごい人気者です。対戦相手の球場で代打で登場すると、相手チームのファンがみんな立ち上がって拍手を送って歓迎したそうです。



大谷選手のチームメイトに聞くと「大谷は野球も素晴らしいが、1番感心するのは立ち居振る舞いだ」ということです。いつもに笑顔でいて、周りの人たちに気遣いができるそうです。そして、野球場のゴミをよく拾ってポケットに入れます。これは今に始まったことではなく、高校生の頃からずっと続けています。

ここに高校1年生の時に自分の目標を書いたシートがあります。ドラフトで1位指名される選手になるために、8つのカテゴリーに分けて自分の取り組むことが書かれています。野球の技術や体力的なことの他に、「メンタル」「人間性」「運」というのがあります。「運」



とはチャンスを引き寄せると言うことだと思います。「運」を引き寄せるためにやることには、「ゴミ拾い、部屋掃除、審判さんへの態度、応援される人間にな



る、プラス思考、道具を大切に使う、あいさつ」があります。「人間性」には、「感謝、持続力、信頼される人間、礼儀…」「メンタル」には、「雰囲気流されない、仲間を思いやる心、はっきりした目標や目的を持つ…」などの言葉が並んでいます。さらに、高校3年生でプロ野球選手になることが決まったら「人生の目標」を綴っています。プロ野球選手としてどのように活躍するか、英語をマスターする、引退したら何をするか、世界旅行…などが書いてあり、「悔いのない人生に」「俺の人生を野球に」「俺がやらなくて誰がやる」「人生が夢をつくるんじゃない。夢が人生をつくるんだ」と書いています。

大谷選手は最優秀選手に選ばれましたが、まだまだ高い目標に向かって頑張ると話しています。「昨日の自分を超える」が目標だそうです。



こんなに素晴らしい日本人選手がいることはとっても誇らしいですね。私たちも大谷選手のように頑張っていきたいです。

水曜日から2泊3日で6年生と日光移動教室に行ってきます。いない間5年生を中心に生活し、6年生が全員元気に帰ってこられるように待っていてくださいね。